

令和6年度 第2回 一関市学校給食センター運営委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年1月27日（月）午後3時から午後4時まで
- 2 開催場所 一関市役所花泉支所 東大会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 佐藤拓史委員（委員長）、佐藤律子委員（副委員長）、小笠原浩委員、今川晋委員、藤原洋委員、伊東洋司委員、佐藤翼委員、小野寺千絵委員、三浦雄太委員、小野寺秀宣委員、小野寺嘉奈委員
 - ※欠席者 青沼徹委員、小岩勇樹委員、菊池利行委員、伊東研二委員、三上貴史委員
 - (2) 事務局 時枝直樹教育長、千葉せつ子教育次長兼教育総務課長、八木浩司副参事兼学校教育課長、千葉稔西部学校給食センター所長、黒川俊之西部第二学校給食センター所長、千葉一枝真滝学校給食センター所長、猪股浩子花泉学校給食センター所長、菅原春彦大東学校給食センター所長、金野幸学校教育課長補佐兼保健係長、木村幸子学校教育課栄養主任主査、菊池可奈子学校教育課主任主事

4 議 題

- (1) 一関市学校給食センターの運営について
- (2) 食育・給食事業等の実施状況について
- (3) 学校給食費の収納対策及び収納状況について
- (4) 令和5年度不納欠損について
- (5) 施設改修及び設備の更新について
- (6) その他

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 1人

7 時枝直樹教育長あいさつ

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

小学校、中学校においては3学期が始まったところであり、小学校においては各学年ともまとめの時期を迎えております。6年生においては中学校に進学する前の様々な行事が行われます。中学校においては私立の高等学校の入試が終わり、続いて県立公立の高等学校の入試が始まる大切な時期となります。

年末からのインフルエンザ感染拡大で、学級閉鎖の措置をとった学校も見られており、数は少なくなったものの予断を許さない状況であります。引続き学校や家庭での感染予

防対策に注意深くご協力をいただきたいと思います。

さて、様々な状況から物価の上昇は続いており、学校給食への対応が求められています。これまで給食食材の価格高騰分を保護者の給食費に反映させないよう、当市では、国の交付金や市の財源で補填をし、保護者の負担軽減を図ってきたところですが、今後も物価高騰や価格の安定が見込まれないことから、今後の学校給食をどのように維持していくか検討する際の参考とするため、昨年10月に保護者を対象に学校給食に関するアンケートを実施しました。アンケートの実施に際しては、保護者の皆様や各学校にご協力いただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

アンケート結果については、この後の令和7年度の給食費について協議いただく際に説明させていただきます。

さて、令和7年度の給食費については、現在の食材価格を反映した給食費の設定を行う必要があると判断し、給食費の改定を行う予定としています。

なお、給食費の改定後も、令和7年度は児童生徒の給食費の保護者負担分は据え置くことで、現在財政当局と協議を行っているところです。

本日の運営委員会では、給食費を含む学校給食センターの運営、食育、給食事業等の実施状況、給食費の収納状況等について説明いたします。

その中で、全国学校給食週間（令和7年1月24日から令和7年1月30日）の期間に合わせて実施する、郷土愛を育む食育展（令和7年1月24日から令和7年2月26日）を、一関図書館において開催しておりますことも紹介いたします。

本日は、限られた時間ではありますが、より良い給食提供の在り方について、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

8 協議内容

(1) 一関市学校給食センターの運営について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 4ページの盛岡市の物価指数の表について、例えば、小学生の一人当たりの食材費の高騰分の基準年になっているのは、令和3年度でよろしいか。

事務局 基準年は令和2年度である。その年度に給食費の改定を行っており、1食当たりの単価は、小学生279円、中学生336円であり、改定を行うまではこの金額である。

現在、給食費と食材の価格に差が生じている状況であり、資料の表は、差額分を示している。

令和4年度からの急激な物価高騰から、給食費については国の交付金などにより対応してきたところである。

議長 各委員から、(1)一関市学校給食センターの運営について、率直な意見や感想を求める。

委員 学校給食については、安全を第一に考えた給食の提供を望んでいる。特に、小学校において給食は栄養のバランスを整える要素が大きい。

給食費については、保護者は金額が上がるということについて否定的ではな

く、栄養のバランスやおいしさ、豊富なメニューを重視していると捉え、給食費の改定についての提案に賛成する。

委員 限られた予算の中でいつもおいしい給食を作っていただいていることをありがたく感じている。給食費の改定による値上げについては給食の質を維持できることから賛成する。

委員 食材を含め全ての物の価格が値上がりしている状況を踏まえ、給食の日数を減らし、保護者が弁当を作ることは、コストや時間など保護者の負担が大きくなることを考えると、給食費の改定については大きな値上がりではないと捉える。

改定後の増額分については、令和7年度は市が何らかの形でしっかり負担していくということから、保護者への説明は問題ないものとする。給食費の改定に併せて、給食の無償化についても検討いただきたい。

委員 保護者アンケートの結果からも、保護者は給食費の値上げはやむを得ないと考えていると捉えている。

改定後の増額分について、市からの何らかの支援があることで保護者の理解が得られるのではないかと考える。給食無償化を行う自治体が全国で増加していることから、検討いただきたい。

委員 保護者としては、弁当を作るより給食を提供していただいた方が助かる。給食費の値上がりはやむを得ないと考えている。

委員 他の委員と同意見であり、アンケートの結果も踏まえ、給食費の改定については、提案どおり値上げすることで進めてよい。

委員 身体は食べ物で作られていることから、給食費の額だけに注目することなく、成長期の子どもたちのため質の高い給食の提供を望む。

委員 提案された給食費の改定額は、物価高騰の中、十分に抑えられている。

改定後の増額分については、市からの支援があるということから、改定には賛成する。

給食の衛生管理については、食中毒の発生を予防するよう引き続き努めてほしい。

委員 給食食材には、地場産食材を使用していると聞く。生産者の高齢化が問題となっている中、子どもたちのために精一杯作ってくださっている。

給食費の改定により、地場産食材の使用量が増え、生産者の所得向上に繋がることに期待したい。

委員 物価高騰の中、子どもたちの健康のため、少ない予算の中で、質の高い給食を提供していただいていることに感謝している。質の高い給食の提供のためであれば給食費を改定することはやむを得ないと考える。

議長 委員からの貴重なご意見を伺ったので、事務局は参考にさせていただき、一層の対応をお願いしたい。

事務局 皆様から頂いたご意見を尊重し、対応していく。

(2) 食育・給食事業等の実施状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(3) 学校給食費の収納対策及び収納状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(4) 令和5年度不能欠損について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(5) 施設改修及び設備更新について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

(6) その他

議長 これまでの報告や協議内容に加え意見や感想があれば伺う。

事務局 給食費の改定に関し、補足説明を行う。

学校給食費の改定に関しては、給食費を増額することで、学校給食の食材の予算を確保し、給食費の増額分については、保護者の負担を求めない方向で検討している。その予算の確保というのが2月から3月にかけての議会において予算の承認を得ることとなる。正式に給食費の額が決定し、保護者へのお知らせするのは、議会終了後となる。

委員 献立表には、産地などが記載されており、地元産の食材の時には地産地消の話をするなど食育を行っている。

委員 本校は今年度、岩手県牛乳普及協会が主催する酪農教室を実施した。地元の酪農家が学校に乳牛の親牛と子牛を連れてきて、乳しぼりや子牛の心音を聴音器で聞く体験や自分たちで生クリームからバターを作り試食する経験をした。また、市の特色のある給食についても楽しみにしている。

委員 毎月発行される食育だよりを楽しみにしている。特に家庭に向けたレシピの提供についてなど丁寧に作成されており、食育として良い取組だと感じている。

委員 全学級が栄養教諭による食育指導をしていただいている。給食管理の業務でお忙しいところ様々な教材を準備していただいで、わかりやすく楽しい授業をしていただいでいることに感謝している。

委員 アンケート調査について、保護者のいずれかがメールを開くと、開封されたことになり、回答を忘れてしまったケースも多いのではないかと。

委員 学校や地域で行われる世代間交流においても、食育の取組が行われ話題になっている。明日の給食で、昨年度の学校給食レシピコンテストの大賞作品「幻の矢越かぶシチュー」が提供されるということ親子で話題にした。

委員 中学校と小学校の子どもがおり、おかわりをするために自分の席がどこになるのかとても重要なことのようなのである。学校に行く目的の中で給食の地位はとても高い。

委員 給食については、栄養バランスに留意しつつ、食中毒予防のための衛生管理にも取り組んでおり、素晴らしいと感じた。

委員 農林部生産流通課では、毎月、西部学校給食センターと西部第二学校給食センターの栄養教諭や生産者の意見交流の場として、学校給食食材供給連絡協議会を

設けている。生産者は地域の宝である子どもたちに給食で食べてもらうことを励みとしており、来年度からも地元食材を給食に提供できるよう支援していく。本日の会議の様子も生産者に伝えたい。

委員 学校給食が楽しくて、食べるために学校に行くわけではないが、子どもたちがそのように思う給食を目指してほしい。

委員 宮城県北のスーパーでは学校給食の献立表が掲示されており、その理由は町で手作り弁当の日を設けているため、献立表を参考にしながら食材購入できるようにとのことだった。このような連携も良いと思った。

9 担当課 教育委員会事務局学校教育課